

晃洋設計測量

とちぎUAVフィールドを紹介

ジャパンドローン2018に出展

晃洋設計測量(足利市山川町656-1、蓼沼恒男社長)は、22日から24日にかけて千葉県の幕張メッセで開かれる「ジャパンドローン2018」に出展。無人航空機専用飛行場「とちぎUAVフィールド」やドローンを利用した測量や災害

・山林などの空撮などを紹介展示する。

出展するとちぎUAVフィールドは、UAV(無人航空機・ドローン)の研修・操縦訓練やデモンストレーション、機体の調整・試験飛行が可能なUAV専用飛行場。2015年9月に

グループ企業の鉾山敷地内に開設した。

ジャパンドローン2018は、日本最大のドローンに特化した国際展示会。国内外のドローン関連企業が、ドローン本体のみならずドローンを利用したサービスなどを紹介。

晃洋設計測量もブースを構え、飛行場や撮影データ、とちぎUAVフィールドをベース基地にしているメーカーの機体などを紹介する。

会場では審査員と来場者の投票で年間ベストドローンを決める「ベストオブジャパンドローンアワード」、ドローンを使用して撮影した空撮映像の「ドローンムービーコンテスト」などのイベントも開かれ、大勢の来客が期待される。